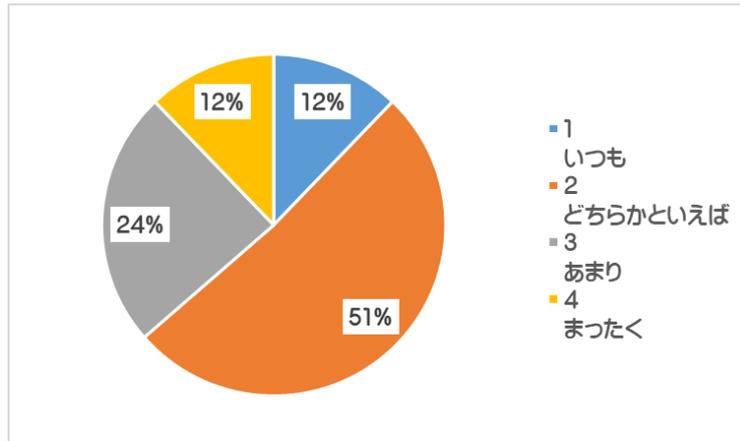


## 種市中学校チャレンジ目標 (ターゲット7)

### 令和7年度学校評価アンケート結果 (生徒・自己評価)

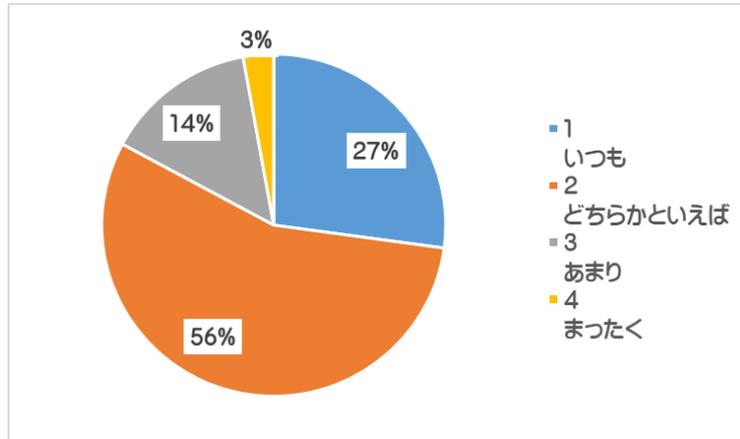
#### ターゲット1: 自分には何かしら良いところがある。 令和7年度目標数値70%以上



昨年度に比べ、肯定的回答割合が-3%の63%となり、数値目標が70%以上であったので、目標をクリアすることはできなかった。「全くない」の回答が5%増えており、自分に自信を持ってない生徒の増加が感じられる。

今後は、さらに様々な場面で成功体験を積み重ね、意欲的に活動に取り組むような手立ての工夫と前向きな声掛けを継続することで、自己肯定感の向上につなげていきたい。

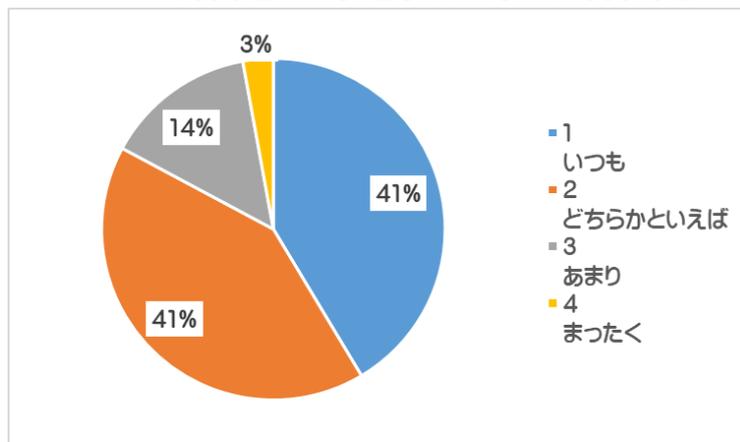
#### ターゲット2: 毎日の授業が楽しい、わかる、集中できる。 令和7年度目標数値80%以上



昨年度に比べ、積極的肯定回答が+8%となり、肯定的回答が+10%の83%であった。数値目標が80%以上であったので、目標をクリアすることができた。学習に対して、前向きに取り組む生徒の増加がうかがえる。

支援員を含めたより個別最適な授業の構築やICTの積極的活用、対話のある学習活動の効果が現れた結果であると考えます。

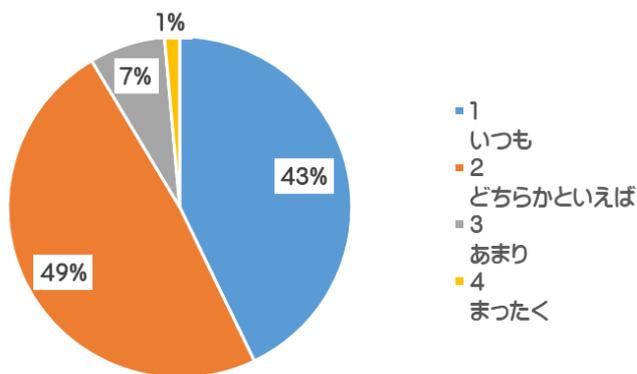
#### ターゲット3: 計画通りに家庭学習を行い、毎日勤勉ノート提出している。 令和7年度目標数値75%以上



昨年度に比べ、肯定的回答が+11%の82%となり、数値目標75%以上をクリアすることができた。最も昨年比との増加率が大きい項目であり、特に受検を意識した3学年の伸びが著しい。

家庭学習についても個別最適な対応をさらに強化し、教師による丁寧な取組方の指導と生徒自身による自主的な取組、そして家庭での学習環境づくりの呼びかけを徹底していきたい。

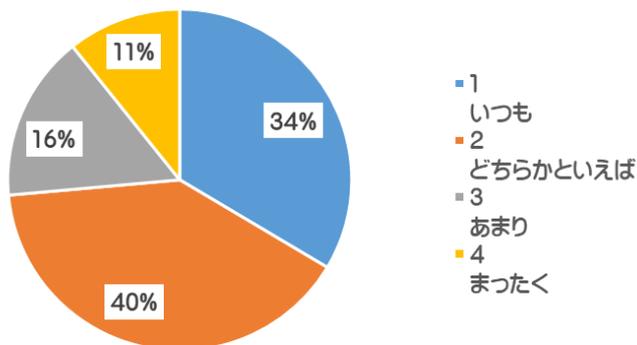
**ターゲット4: 学習、部活動、学校行事等で満足感や感動を得ている。令和7年度目標数値90%以上**



昨年度に引き続き 90%以上の生徒が肯定的回答をしており、数値目標は達成できた。今年度もほぼコロナ禍前の諸活動が行われ、生徒にとって充実した活動となっており、満足感や感動が得られていると考えられる。

部活動任意加入制の導入に伴い、諸活動の精選・工夫を凝らし、生徒にとってより良い活動となるよう支援を継続していきたい。

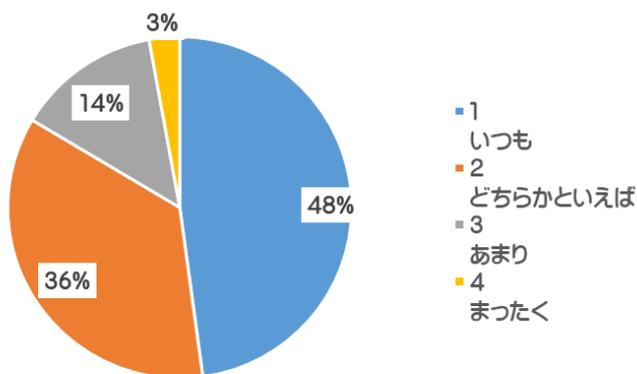
**ターゲット5: 夢や希望をもち、将来のことを考えて生活している。令和7年度目標数値80%以上**



数値目標達成には至らなかったが、2・3年生の肯定回答割合が昨年度よりともに+5%となっており、様々な体験学習等を通して自分の将来についてしっかり考える力が育成されていると考えられる。

来年度も、職場体験活動や漁業体験学習等を充実させ、高校進学という目先の目標だけでなく、将来の職業への夢を持てるような指導を継続していきたい。

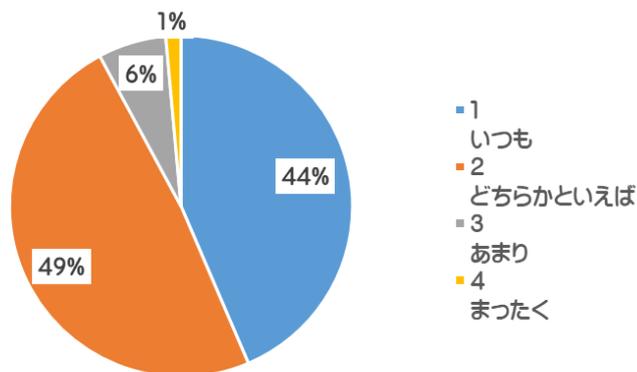
**ターゲット6: 不安や悩みを相談できる人(友達、親、先生等)が身近にいる。令和7年度目標数値85%以上**



本校にとって、不登校やその傾向の生徒の増加が大きな課題である。全体的な傾向は、昨年度とほとんど変わらなかった。

年数回の教育相談週間やスクールカウンセラーとの連携等、学校全体として生徒の日常の様子を観察し、生徒に寄り添えるような支援及び学校と外部機関とのつながりをもてるような取組を、今後も継続していきたい。

**ターゲット7: 社会や学校、家庭のルールやマナーを守り、進んで挨拶する。令和7年度目標数値95%以上**



数値目標は達成できなかったが、昨年度に比べ積極的肯定回答が+6%となっていることから、規範意識・ルールを守ろうとする意識が高い生徒の増加が感じられる。

SNS等の利用を含めた規範意識の更なる向上に、これまで以上に家庭と協力して取り組んでいく必要があると考える。